⑶　クラッチケース（機械式のものに限る。）	①　ケース内の油量及び油の汚れの有無を調べる。	①　油量が適正で、かつ、著しい汚れがないこと。
	②　ケースからの油漏れの有無を調べる。	②　油漏れがないこと。
⑷　トランスミッション	①　レバーを前進又は後進に入れ、車体を駆動させて作動の適否並びにレバーの抜け、異音及び異常発熱の有無を調べる。	①　正常に作動し、かつ、レバーの抜け、異音及び異常発熱がないこと。
	②　ケース内の油量及び油の汚れの有無を調べる。	②　油量が適正で、かつ、著しい汚れがないこと。
	③　ケースからの油漏れの有無を調べる。	③　油漏れがないこと。
⑸　流体継手及びトルクコンバーター（機械式のものに限る。）	①　負荷をかけ、異音及び異常発熱の有無を調べる。	①　異音及び異常発熱がないこと。
	②　ケース内の油量及び油の汚れの有無を調べる。	②　油量が適正で、かつ、著しい汚れがないこと。
	③　ケースからの油漏れの有無を調べる。	③　油漏れがないこと。
⑹　チェーン及びスプロケット（チェーンケースを含む。）（機械式のものに限る。）	①　回転の状態における異常振動及び異音の有無を調べる。	①　異常振動及び異音がないこと。
	②　チェーンの緩み及び伸びを調べる。 ただし、①の検査の結果、異常振動及び異音が認められない場合は、この検査を省略することができる。	②　緩み及び伸びが当該車体の構造及び性能に照らし、適正な範囲にあること。
	③　ケース内の油量及び油汚れの有無を調べる。	③　油量が適正で、かつ、著しい汚れがないこと。
	④　ケースからの油漏れの有無を調べる。	④　油漏れがないこと。
⑺　ギヤ及びピニオン（機械式のものに限る。）	回転の状態における異音及び歯当たりの異常の有無を調べる。 ただし、回転時に異音が認められない場合は、歯当たりの検査を省略することができる。	異音がなく、かつ、歯当たりが適正であること。
⑻　ギヤボックス、ギヤケース及びギヤカバー（機械式のものに限る。）	①　亀裂及び変形の有無を調べる。	①　亀裂及び著しい変形がないこと。
	②　ケース内の油量及び油の汚れの有無を調べる。	②　油量が適正で、かつ、著しい汚れがないこと。
	③　ケースからの油漏れの有無を調べる。	③　油漏れがないこと。
⑼　軸及び軸受（機械式のものに限る。）	負荷をかけた回転の状態における異常振動、異音及び異常発熱の有無を調べる。	異常振動、異音及び異常発熱がないこと。
⑽　巻上げ減速機（油圧式のものに限る。）	①　負荷をかけた状態における異常振動、異音及び異常発熱の有無を調べる。	①　異常振動、異音及び異常発熱がないこと。
	②　ケース内の油量及び油の汚れの有無を調べる。	②　油量が適正で、かつ、著しい汚れがないこと。
	③　ケースからの油漏れの有無を調べる。	③　油漏れがないこと。
⑾　旋回減速機（油圧式のものに限る。）	①　旋回中の異音及び異常発熱の有無を調べる。	①　異音及び異常発熱がないこと。
	②　ケース内の油量及び油の汚れの有無を調べる。	②　油量が適正で、かつ、著しい汚れがないこと。
	③　ケースからの油漏れの有無を調べる。	③　油漏れがないこと。
⑿　ドラム本体	①　亀裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	①　亀裂、著しい変形及び摩耗がないこと。
	②　ドラムロック用のラチェット部の欠損及び摩耗の有無を調べる。	②　欠損及び著しい摩耗がないこと。
⒀　ドラム軸及び軸受	ドラムに負荷をかけ、異音、異常発熱及び振れの有無を調べる。	異音、異常発熱及び振れがないこと。
⒁　カムクラッチ（機械式のものに限る。）	作動させてスリップの有無及び作動の適否を調べる。	スリップがなく、かつ、正常に作動すること。
⒂　ジブ降ろし装置（機械式のものに限る。）	①　ジブを起伏させ、パウルの作動の適否を調べる。	①　円滑に作動すること。
	②　カバーを取り外し、パウルの亀裂、変形及び摩耗の有無を調べる。	②　亀裂、著しい変形及び摩耗がないこと。